

令和7年度



# 園だより 8月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきなからだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるこころとあたま

スマホ対応の書式に変更してみました。

ご意見ございましたら、園長まで

お願いします！

## 1学期の終わりに…

園長 原 麻弓

令和7年度の1学期が終わりました。  
7月22日から夏季休業日が始まります。  
✿おひさまチームは8月31日までお休みです。  
☆ほしチームは子供園で夏ならではの生活を送ります。

夏の間も規則正しい生活を送り、ご家族皆様で生活リズムを崩さないようお過ごしください。  
さて、終業式では規則正しい生活を送る大切な他にもう一つ、子どもたちに伝えたことがあります。

『9月1日に、みんなもみんなの家族も、そろって元気に子供園に来ること』です。

悲しい事故や事件のニュースが後を絶たない世の中です。

夏は楽しいことがたくさんある反面、危険とも隣り合わせであることを、私たち大人はしっかりと理解することで、大人が守ってあげられることもあります。子どもたち自身も自分や自分の大切な人を守る気持ちをもてるといいですね。

“安全”について今一度、ご家族皆様で考える良い機会となりますように…。

先日の学年懇談会では、各学年、担任から、1学期の子どもたちの様子や育ちについて、また2学期以降の学級経営の方針についてお伝えしました。

禅の言葉に『啐啄同時(そつくどうじ)』という言葉があります。

鳥が卵からかえる時に、雛が内側から殻をつつく「啐(そつ)」と、親鳥が外側から殻をつつく「啄(たく)」のタイミングが同時であることで、雛は無事に卵から出でてくることができる、という意味です。

中の雛が準備できていないのに外側からこじ開けることも、中の雛が出たがっているのに外側から助けないことも、育ちにはつながりません。

子どもたちが育ちたいと思う“コト”や“時”を逃さずに、そのために必要な環境を整えていくことが私たち教職員の使命です。

中にいる子どもの、見えないけれども育ちたい思いとタイミングを感じ取る目をもてるようになりたいものです。

子供園における教育・保育も、またご家庭での子育ても、「啐啄同時」の目をもって、子どもたちの健やかな育ちを支えていきましょう。

1学期、たくさんのご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。  
楽しくて安全な夏をお過ごしください。

